

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センター テトラ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 15日		～ 令和 7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団をメインとした療育をしております。 また、小集団の中でも職員が個別的な介入をすることで、個々に寄り添った支援が出来ています。	ABAの理論やティーチプログラムの理論に基づき、自閉傾向が強い子にもしっかりと対応できています。 また、療育に携わる職員も長年の経験と知識を積んだ職員が多岐的確にマネジメントできる体制にあります。	さらなる研修にて自己研鑽を重ね、他の理論を応用した取り組みで、ゆおり子供たちに還元出来るよう努めていきます。
2	各職員の経験が豊富なため、子供たちへの支援内容の質も高いことや支援の幅も広いことなど、一人一人の成長が顕著にあらわれて来ています。	子供たちのラポール関係の樹立や適切な声掛けなどチームとして支援の統一を図っています。	より個別的な介入の方法やタイミングなど集団力動の観点から、さらなる支援の質の強化を図っていきたくと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別的な対応の際には、もう少し部屋数が欲しいと感じます。	限られた空間しかないので、近くに賃貸できる部屋等があれば確保できると思います。	ハード面のことなので、どうしようもない場合もありますが、出来る事や使える物を最大限に利用して取り組んでいきます。
2	新しい職員等が入ってきたときの教育の流れやマニュアルを確立したい。		オンボーディングの作成・活用により、可視化できるスケジューリングを作りあげたいと思います。
3			